

寄稿：「キュリー夫人科学伝記読書感想文」に触発されて

武井 厚（たけい あつし）

昨年の春、貴日本化学連合がキュリー夫人のノーベル賞受賞百年を記念して、小・中学生を対象にした「キュリー夫人科学伝記読書感想文」を公募していることを知り、近くに住む小学生と中学生の孫たちに応募を奨めてみました。当時、彼らは希望校への進学を控えた春休み中で、よい刺激になるのではと考えてのことでしたが、応募した結果、幸いにも入選することができました。

その表彰式がポーランド大使館で行なわれ、大使やノーベル賞受賞者の野依良治先生など、ノーベル賞や化学に縁のお話をいろいろ聞いて、今まであまり接したことのない世界に触れ、喜びとともに大きな刺激を受けたようでした。

それに触発されたのか埼玉県に居住する中学2年生の孫も、市が公募した「平成23年度中学生中国派遣団の選抜作文」に応募し、見事に最高点で入選し、市立中学12校の各校から男女各1名、合計24名で構成される中国派遣団に選ばれました。

現在高校生になっている受賞者の兄は夏休みの宿題で出された「英作文コンテスト」で、全国100人の入選者に選ばれたとのことです。

上記二人の作文入選は、「キュリー夫人科学伝記読書感想文」の入選受賞に触発され、頑張った結果かもしれません。

これらのニュースは、応募を奨めた祖父にとっては、孫たちからの素晴らしいプレゼントとなりました。